

The Partner for Success

第48期 ビジネスレポート

2023年4月1日～2024年3月31日

株式会社 **図研**

証券コード 6947

財務ハイライト

売上高



営業利益



経常利益



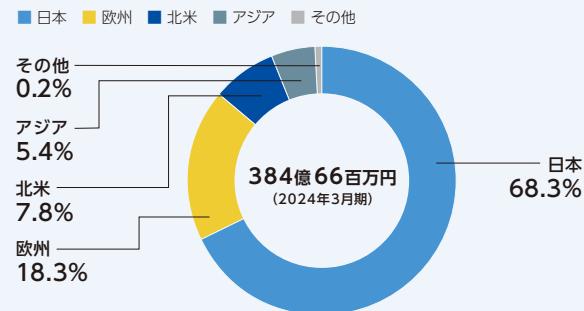
当期純利益



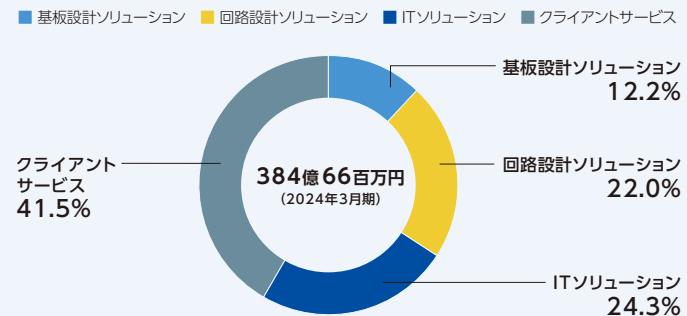
1株当たり当期純利益



地域別売上高



製品別売上高



CEOメッセージ

変革を支援するエンジニアリングITカンパニーとして、さらなる企業価値向上に努めます

株主の皆さまには、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、製造業のお客さまの積極的なIT投資が継続していることを背景に、3期連続で売上高、営業利益、経常利益において過去最高を達成することができました。

モノづくり業界を取り巻く市場環境は、様々な不安要因が顕在化しています。そのようななかでも、多くの企業が確固たる信念を持って次世代に向けたモノづくり環境の変革を成長戦略に据えています。当社が提供するMBSEをはじめとしたエンジニアリングITは、こうした製造業の揺るぎない戦略を支える基盤となるものであり、幅広い業種のお客さまから高い期待をお寄せいただいています。

当社グループの強みは、製造業のお客さまとの深いつながりにあります。お客さまの成功に貢献するパートナーとしての能力をさらに高めるとともに、エンジニアリングITの価値向上に積極的に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、今後も一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長

金子真人



図研グループの総力を結集し、モノづくりのDXを実現するソリューションを拡充します

代表取締役社長

藤部 迅也



第48期業績について

当期(第48期)の経済環境は、世界的なインフレ加速や海外景気の下振れ懸念などから先行き不透明な状況は続いているものの、コロナ禍の収束により経済活動が正常化したことから、景気は緩やかな回復基調で推移しました。当社グループの主要なお客さまであるエレクトロニクス製造業、自動車関連・産業機器製造業では、設備投資全体は堅調に推移し、IT投資も活発な状況が続いています。

こうしたなかで、当社グループは、世界のモノづくり企業の設計・製造にかかわる様々な課題の解決に向けて最適なソリューションを提供していくエンジニアリングITカンパニーを目指し、主力製品の拡販や機能拡充、新しい設計手法への取り組みに注力しました。

①主力製品の拡販と機能拡充

エレクトロニクス製造業向けの主力の電気設計システム「CR-8000」シリーズにおいて、引き続き全世界で拡販に注力し、売上を伸ばしました。また、AIを活用して自動化する新機能の開発や解析機能のさらなる向上などに取り組ましました。自動車関連・産業機器製造業向けのワイヤハーネスの設計システム

「E3.series」においては、欧米のグローバル企業を中心に販売を拡大させ、また、北米最大の制御盤メーカーとの協業を推進し、新たな販売先の開拓に注力しました。設計システムのデータを管理するDSシリーズにおいては、設計システムとの連携を強化し、データ管理まで一貫したソリューションとして販売を推進し、大型プロジェクトにつなげることができました。

②新しい設計手法への取り組み

大規模化、複雑化するモノづくりにおいて、多様化する設計の課題を解決するため、プロセス全体をデジタル化し変革していくことが求められています。これに対して当社グループは、電気・機械・ソフトウェアなど複数の設計分野にまたがる製品開発において、設計プロセスの構想段階から設計を最適化するMBSEの手法に引き続き取り組みました。

MBSEモデリングツール「GENESYS」においては、既存製品との連携機能をさらに拡充し、操作性の向上やチェック機能を追加するなど製品力の向上に注力しました。先進的な取り組みを模索するお客さまから、導入効果の検証の引き合いも多く、今後の本格導入に向けて、積極的に営業活動を行っています。

3期連続で過去最高売上を更新

第48期の売上高は、すべてのソリューションにおいて前年を大きく上回り、3期連続で過去最高を更新しました。特に、主力の電気設計システム「CR-8000」シリーズやワイヤハーネスの設計システム「E3.series」の売上が伸長し、また、国内子会社のネットワークセキュリティ関連製品の売上が好調に推移しました。

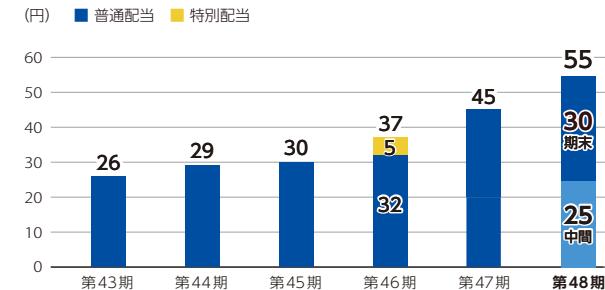
利益面についても、売上高の伸長により大幅な増益を達成し、営業利益、経常利益ともに過去最高となりました。

第48期(2024年3月期)業績 ()は前期比

売上高	384億6千6百万円	(9.7%増)
経常利益	54億3千9百万円	(14.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	38億6千8百万円	(21.0%増)

利益配分につきましては、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要な政策と位置づけ、安定した配当を基本方針にしています。前述の内容を踏まえて、期末配当金は前期25円に比べ5円増配し、1株30円とさせていただきます。したがって、中間配当金(1株25円)を含めた年間配当金は1株につき55円となります。

配当金の推移



今後の取り組みについて

モノづくりを取り巻く環境は、製品の複雑化、AIなど先端技術への対応、人材不足などの課題が顕在化し、製造業を支援する当社グループが取り組むべき事業領域は、ますます拡大していくことが見込まれます。第49期も、お客さまが抱える課題に真正面から取り組み、モノづくりのプロセス全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)を実現する革新的なソリューションを提供してまいります。

第49期の重点施策

施策1

新製品の企画・開発体制の強化

- お客さまとのコミュニケーションの質と量のさらなる向上
- 技術と販売が一体となった新製品企画・開発、導入、展開のスピードアップ
- 製造業のDXニーズに、より効果的なMBSEソリューションの提供に向けた積極的な開発投資

施策2

製造業DX支援

- MBSEソリューションを軸に、エンジニアリングプロセス全体をデジタル化するDX提案の推進
- 製品、生産技術、工場/プラントの省力化・自動化ニーズを捉えた電気設計ソリューション提案を推進

国内市場

電子機器設計 (EDA) 関連

製造業のDX推進により
設計プロセス改善の取り組みが進展

- エレクトロニクス製造業、自動車関連製造業において、DX推進によるIT投資が活発に推移
- 製品開発のシステム設計をデジタル化するDXソリューションとしてMBSEの認知度が向上。幅広い業種でMBSEモデリングツール「GENESYS」の効果検証が拡大
- 設計プロセスの刷新を目的とした「CR-8000」への移行やデータ管理ソリューション「DS-CR」導入などの大型プロジェクトを複数獲得

電気制御・ケーブル設計支援関連

輸送機器、産業機器、プラントの各分野で
省力化・自動化を目的とした製品導入が加速

- 輸送機器製造業において、ワイヤハーネス設計支援の新製品「E3.infinite」の導入が加速し、新規の効果検証の引き合いも増加
- 産業機器製造業において、電装設計ソリューション「E3.series」の増設や新規導入が進み、過去最高の売上を達成
- プラント・エンジニアリング業界において、工場DXとして電気配線計画ソリューション「E3.EC」の導入が加速

欧米市場

主力製品の販売が好調、欧州で過去最高売上
パートナーシップによる顧客開拓を強化

- 産業機器、防衛・航空宇宙、輸送機器などの製造業向けに、「CR-8000」と「E3.series」の販売が好調に推移し、欧州で過去最高売上を達成
- 「E3.series」と設計データ管理ソリューション「DS-E3」の統合提案を軸に、新規・既存顧客への提案活動を強化
- 米国では、北米最大の制御盤用エンクロージャー(筐体)のサプライヤーであるnVent HOFFMANとのパートナーシップを強化し、「E3.series」連携ソリューションの拡販に注力

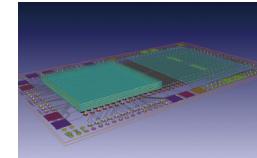
アジア市場

車載機器、EV関連、エレクトロニクス機器など
地場製造業とのビジネスが拡大

- 韓国では、大手の車載機器メーカーやエレクトロニクス機器メーカーとのビジネスが拡大し、過去最高売上を達成
- 中国では、地場のEVメーカーなど輸送機器関連製造業に対する「CR-8000」や「E3.series」の販売が好調に推移
- インドでは、好調な経済からIT投資も伸長し、過去最高売上を達成。防衛・航空宇宙、鉄道車両、輸送機器などの製造業向けに「E3.series」の提案を加速

チップレット、3D-ICなど先端半導体技術への取り組みを加速

半導体製造プロセスの後工程の実装技術に注目が高まるなか、図研は3D-IC/チップレット設計ソリューションを強化しています。「CR-8000 Design Force」では、半導体、パッケージ、プリント基板など異なるテクノロジーの設計データを連携し、3次元実装の設計効率化を実現。今後は米国のSynopsys社やAnsys社との連携を強化し、3D-IC設計・解析プラットフォームの構築を進める予定です。



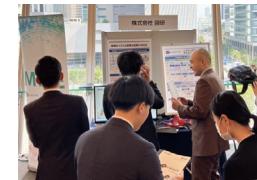
Design Forceで3次元描画による
複合デバイスの設計環境を実現



3D-ICの設計支援に
関するニュースリリース

MBSEツール「GENESYS」の最新機能と活用事例に注目が集まる！

2024年2月に開催されたシステムズエンジニアリング/Model-Basedシンポジウムに協賛し、MBSEソリューション「GENESYS」を展示。同シンポジウムには、自動車、医療機器、電機など幅広い分野の製造業関係者 約1,000名(2017年初回開催の10倍規模)が参加。参加者は、MBSEを活用した設計プロセス改革を検討されている企業が多く、当社ブースにも多数のご来場をいただきました。こうした製造業のニーズを捉え、「GENESYS」の認知拡大、機能強化を進めていきます。



賑わう「GENESYS」展示ブース



シンポジウムの
出展レポート

短期立ち上げを実現する「E3.series」の新ユーティリティパッケージが好評！

電装設計CAD「E3.series」において、国内製造業の設計関連業務の効率化に特に有効な機能をパッケージ化した「E3 Service Utilities (E3.SU)」の機能拡張を行い、既存・新規顧客への提案を強化しました。「E3.SU」により、「E3.series」導入時のカスタム開発を削減でき、プロジェクトの短期立ち上げを可能にします。また、煩雑な設計業務の自動化や設計成果物の自動出力など、「E3.series」の導入効果を最大限に引き出すことができ、お客さま満足度の向上につながっています。



E3.seriesによる
電気設計環境改革の事例

横浜国立大学フォーミュラプロジェクトを支援

サステナビリティ活動として「横浜国立大学フォーミュラプロジェクト」に協賛。近年、学生フォーミュラにおいてガソリン車からEVへの移行が進むなか、重要度が増す電装設計を効率化するため、図研の電装設計CAD「E3.series」を提供し、同大学のフォーミュラカー開発の電装設計支援を行っています。モノづくり業界の発展に貢献するため、次世代エンジニア支援を継続していきます。



昨年に製作された横浜国立大学
フォーミュラカー



サステナビリティ
次世代エンジニア支援

インフォメーション

会社情報 (2024年3月31日現在)

社名	株式会社図研 ZUKEN Inc.
設立	1976 (昭和51) 年12月17日
資本金	101億1,706万5千円
株式市場	東京証券取引所プライム市場
従業員数	434名 連結1,578名
平均年齢	44.5歳
URL	https://www.zuken.co.jp/

取締役・監査役

(2024年6月27日現在)

代表取締役会長	金子 真人
代表取締役社長	勝部 迅也
代表取締役副社長	相馬 康一
取締役*	佐野 高志
取締役*	高原 わかな
監査役 (常勤)	和田 扶佐夫
監査役*	半田 高史
監査役*	高田 保豊

※は社外取締役および社外監査役です。

執行役員

(2024年6月27日現在)

専務執行役員	仮屋 和浩
専務執行役員	上野 泰生
執行役員	藤原 宏行
執行役員	大澤 岳夫
執行役員	早乙女 幸一
執行役員	奈良 功
執行役員	大塚 隆夫

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
公告方法	電子公告 (当社Webサイト https://www.zuken.co.jp/e-koukoku/) なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	

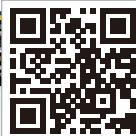
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
および口座管理機関	同連絡先
	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	 0120-232-711

図研Webサイトのご案内

コーポレートサイト



ニュース&トピックス



投資家情報 (IRサイト)



住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

口座をお持ちの証券会社にお申出ください。なお、特別口座で株式が管理されている株主の方は、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 図研



本社・中央研究所	〒224-8585 横浜市都筑区荏田東2-25-1	TEL: 045-942-1511(代)
センター南ビル	〒224-8580 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11	TEL: 045-942-1300(代)
新横浜ビル	〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1	TEL: 045-473-6868(代)
関西支社	〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル	TEL: 06-6343-1141(代)
名古屋支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-23-20 HF桜通ビルディング	TEL: 052-950-3671(代)



この報告書は、環境に優しい植物油系インキを使用し印刷しています。